

2024. 9. 30

報道関係者 各位

< 配信枚数1枚 >

■ 講座のご案内 ■

**国際言語文化研究所連続講座「〈物語〉を外からひらく研究角度」開催
「物語」の役割や未来の可能性を探る**

日時：2024 年 10 月 4 日・11・18・25 日 17:00～19:00

会場：立命館大学衣笠キャンパス（Zoom ウェビナーあり）

立命館大学国際言語文化研究所は、全 4 回の連続講座「〈物語〉を外からひらく研究角度」を 2024 年 10 月 4 日より開催いたします。

小説や漫画といった「物語」は、古くから人々を繋ぎ合わせてきました。「物語」は過去から現代にかけ、その役割も変容しており、近年さまざまな分野での研究事例が出てきています。「物語」を紡ぐ表現媒体も声から図像、文字、web など多様化しながら現在に至ります。

全 4 回の連続講座では、「物語」を研究する研究者の研究成果発表を中心に、発表を通して、「物語」が過去や現在で担ってきた役割と、未来における可能性を、皆様と考える機会となれば幸いです。

日 時：2024 年 10 月 4・11・18・25 日（毎週金曜日）17:00～19:00 ※16:45 開場
場 所：対面）立命館大学衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム
オンライン）ZOOM ウェビナー

参加方法：①会場での対面参加（会場：定員 50 人）※申込不要、当日先着順でご案内します。
②オンライン参加の方は、センターのホームページ（イベント）に掲載されたリンクよりご参加
ください。 <https://www.ritsumei.ac.jp/research/iilcs/event/symposium.html/>

対 象：申込不要。どなたでも無料でご参加いただけます。

主 催：立命館大学国際言語文化研究所

開催スケジュール：

- 10 月 4 日 第 1 回 再編：語り直される〈物語〉のこえとえともじ
発表1：西岡亜紀（立命館大学）「物語を動かすさまざまな表現～こえとえともじ」
発表2：川島隆（京都大学）「変容するハイジ」
コメンテーター：佐藤宗子（千葉大学名誉教授、アジア児童文学日本センター会長）
- 10 月 11 日 第 2 回 ナラティヴ（語り）と学び：教育と〈物語〉、教師・学習者の〈物語〉
発表1：北出慶子（立命館大学）「ナラティヴと言語教師の成長」
発表2：竹森元彦（香川大学）「ナラティヴと教育」
コメンテーター：サトウタツヤ（立命館大学）
- 10 月 18 日 第 3 回 視点と共感：認知言語学から見る〈物語〉と〈マンガ〉
発表 1：岡本雅史（立命館大学）「〈物語〉としての対話—オープンコミュニケーション
と共感チャンネルの観点から」
発表 2：出原健一（滋賀大学）「共同注意からマンガと言語を考える」
コメンテーター：甲田直美（東北大学）
- 10 月 25 日 第 4 回 沈黙と暴力：物語ること、語らないこと、語れないこと
問題提起：ウェルズ恵子（立命館大学）「物語に語られること、語られないこと」
講演：合田正人（明治大学）「物語における沈黙と、それをめぐる若干の哲学的考察」

本リリースの配布先： 京都大学記者クラブ

● 内容・取材についてのお問い合わせ先

立命館大学国際言語文化研究所事務局 TEL. 075-465-8164 Email. genbun@st.ritsumei.ac.jp